

第7回薄川流域協議会 要旨

日時:平成16年2月13日(金) 18:30 ~ 21:00

場所:長野県松本勤労者福祉センター 1階 大会議室

次 第

- 1 開 会 (座長あいさつ)
- 2 自己紹介 (該当者なし)
- 3 議 事
 - (1)第6回協議会会議録
 - (2)会員からの資料請求
 - (3)基本高水流量見直し原案の説明
 - (4)河川改修原案の説明
 - (5)原案に対する質疑(及び意見交換)

資 料

扉ダムの堆砂状況	資料 - 21
複断面施工の経緯	資料 - 22
基本高水流量の見直し原案	資料 - 23
河川改修原案	資料 - 24
第6回会議録	

資料は奈良井川改良事務所、松本合同庁舎行政情報コーナー、松本市役所、里山辺出張所で縦覧できます。

会員数

会員数 46名 (出席会員数 19名)

内 容

- 1 第6回協議会の会議録の内容について確認し、奈良井川改良事務所のホームページで公表することになりました。
- 2 前回会員から請求のありました資料について、事務局から資料21、22により説明を受けました。なお簡易水道から上水道に代わったことによる、河川流量が増えている資料については、調査資料はなく入山辺上水道の給水量から求めると、最大給水量は250m³/日、毎秒あたりでは0.003m³とごく僅かな量で、洪水には影響がないとの説明がありました。
- 3 基本高水流量の見直し原案について、事務局から資料23により説明を受けました。
- 4 河川改修原案について、事務局から資料24により説明を受けました。
- 5 次回、意見のある方は文章にして提出して頂くよう座長から話がありました。

質疑・会員からの意見(前回の請求資料に対する説明に関して)

〔質問〕 資料 - 21 扉ダム堆砂状況に関して、一応こういう状態で堆砂していることが分かったのですが、薄川に関してどの位の土砂を下流へ流すべきか、具体的な数字は分かれますか。

〔回答〕 砂防ダムの目的は土砂を止めることであり、下流への土砂供給を検討してはおりません。

〔意見〕 下流への土砂供給を考えていくべきだと思います。

〔質問〕 複断面部分の撤去を行うのか。

〔回答〕 複断面区間は、今回改修の対象としてはおりません。

質疑・会員からの意見(基本高水流量見直し原案の説明に関して)

〔質問〕 基本高水流量について、実績との対比があるのか教えて下さい。

〔回答〕 資料 - 23 のページ 14 薄川については厩所で実測値と計算値との比較をしております。

〔意見〕 治水安全度 1 / 80 確率の洪水のピーク流量について、皆さんと認識を統一した方が良いと思う。

〔意見〕 基本高水は了解の上に立って、今後は河川改修の議論を優先させるべきではないか。

〔意見〕 治水安全度 1 / 80 確率の洪水ピーク流量とあるが、実際は 1 / 80 で降る雨の確率で、いろいろな雨量形態の中で最大のものを基本高水と決めている。基本高水については雨量形態の中でピークを取っており余裕がある。

〔質問〕 過去の洪水実績流量を示してもらいたい。

〔回答〕 基本高水の算出手法については、過去の洪水痕跡等実績から出すのが一番良いのですが、上流で溢れていたりして洪水時の流量が把握出来ておらず、雨量から求めています。

〔意見〕 基本高水の決定は、専門の方にまかせる考えもあるのではないですか。

〔意見〕 1 日でも早く、前に進んだ状況にすることが流域協議会ではないか。河川改修原案について、どう判断するかという段階に移るべきではないか。

〔意見〕 洪水の経験を世代から世代へ引き継ぐのには、1 / 50 等で議論しておく必要がある。今は時間がないけど、市民の間で議論した方が良いと思う。

質疑・会員からの意見(河川改修原案の説明に関して)

〔質問〕 基本高水から逆算して、改修計画を示されましたが、例えばA区間について3m掘り下げなければいけないという事になる。薄川を2mほど掘りますと泥炭地になります。実際に出来ますか。

〔回答〕 これは原案であって詳細(掘削)については、調査を行って決定します。

〔質問〕 3m掘り下げた場合、田川との整合はとれますか。JR橋について架け替えしなくても可能ですか。

〔回答〕 奈良井川、田川、薄川の縦断についても水が流れるように検討し田川も奈良井川も掘り下げます。JR橋については橋脚がありませんので河床を掘っても影響はありません。ただし、橋台の補強は必要があるかもしれません。

〔質問〕 474m³/sから470m³/sに変わったが検討委員会では拡幅で、今回は拡幅がなくなったのは、どういう要素でなくなったのか説明をお願いしたい。

〔回答〕 今回詳細に検討した結果、拡幅を行わなくても河道内でおさまりました。

〔質問〕 今回の河川改修原案の工事費はどのくらいかかるのか。

〔回答〕 まず、原案をお示しし、最終的には河川改修費を出します。

〔意見〕 工事費よりも、流域市民の安全を守る治水対策をどうするかが先である。

〔意見〕 具体的に河床を掘ることによる地下水への影響等は議論すべきであると思う。土砂の移動も考えて出来るのであるのなら拡幅があっても良いと思う。川を閉じ込めるだけでなく、川を広げることが出来るなら広げるべきではないかと思います。

〔意見〕 議論も大事であるが、流域市民の安全を守るため早く事業を進めることを考えて下さい。

会員からの資料請求等

・複断面護岸と既設石積土台との関係 資料 - 25